

(資料38) 職務業績評価の実施状況

1. 17年度評価及び18年度目標設定の実施手順等

本人の評価等	<p><職員>17年度の目標の達成度を自己評価し、17年度職務目標面接カードの本人評価欄に記入。 同時に18年度の目標を18年度目標面接カードに記入し、両方のカードを主査に提出。</p>	4/7 ~4/15
		
面接の実施	<p><主査>他の面接委員とともに17年度評価、18年度目標の面接を実施。 面接終了後、17年度の職務業績評価とコメント・指導欄に記入、18年度の指導欄に記入した後、本人に返却。 <職員>17年度、18年度の両方のカードを確認した後両カードを領域長等に提出。定期健康診断等の受診状況等についても提出。</p>	4/18 ~5/16
		
領域長の指導	<p><領域長等>17、18両年度の面接カードの指導欄に必要な事項を記入し、本人に返却。写しを理事長及び理事に提出。</p>	5/17 ~5/27
		
《給与への反映》		
領域長の推薦	<p><領域長等>17年度の面接カードを踏まえ、業績手当のA評価等及び特別昇給の候補者の推薦を理事長に提出。</p>	5/17 ~5/27
		
結果の反映	<p><理事長>領域長等の推薦をもとに給与等への反映について決定。 ○業績手当、任期付職員業績手当の支給 ○特別昇給の実施</p>	~6/14 6/30 7/1

2. 平成17年度評価(18年度実施)の給与への反映状況

平成14年度評価(平成15年度実施)より、業績手当のC評価(従前のC評価は、D評価へ)、及び任期付研究員に対する任期付職員業績手当を新たに設けた。

(1) 業績手当 (6月期)

評価結果	該当人数	業績手当の成績率
A 評価	73人	一般職員88/100、ユニット長113/100
B 評価	142人	一般職員70/100、ユニット長90/100
C 評価	0人	一般職員60/100、ユニット長60/100
D 評価	0人	45/100~60/100

注1) 評価の対象者総数は215人。

2) A、B、Cの評価は、職務目標面接における前年度設定目標の難易度と達成度の総合評価により、D評価は欠勤等の状況を勘案して決定。

(2) 特別昇給

特昇の区分	該当人数
6号俸上位	0人
4号俸上位	14人
2号俸上位	49人

(3) 任期付職員業績手当 (俸給月額に相当する額)

評価対象者19人のうち、3人に支給。